



p2-3

みらいフェスタ2021

p4-5 **【サポセンの事業報告 1】**

みらいカイキ2020から生まれた
プロジェクトをご紹介します！

- お遊び集団！YA！チャオ！
- まつとSDGs ノウエン

p5 **【スタッフコラム】**

地域活動の一番の魅力…☆彡

p6 **【サポセンの事業報告 2】**

第5期まつと地域活躍塾
公開講演会を開催しました！

p7 **【チャレンジャー】**

まつと子育てコネクト(matsuco)

p7 **サポセン新規届出団体**

p8 **【ある日のサポセン】**

リニューアルした情報コーナーで
自分に合った活動を探そう！



サポセン
メルマガ登録はこちら！
<https://bit.ly/3gf0dh6>



まつど市民活動
サポートセンター

<http://www.matsudo-sc.com/>

みらいフェスタの真骨頂！



狭山事件にとりくむ
東葛住民の会

子どもが
遊んでいる脇で、
お母さんがしっかり
レクチャー受けてます。

子どもが楽しみ、学び、体験してる間に、
お母さんは活動について出会う機会に。
再審応援バスケットのゲームは
メンバーのお孫さん(小5)が創ったもので、
お願いして借りてきたそうです。

“今どき”の フェスタ開催事情

- ☆ 3つの時間帯の事前申込制
- ☆ 当日参加も可能、入場制限あり
- ☆ 名簿の作成、団体入場者との区分け



スタッフによる
入念な
入場方法の
すり合わせ



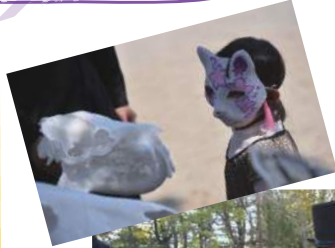
当日受付もおことわりすることなく、
無事楽しんでらうことができました。



好きな景品
とってね

高校生也大活躍！

実行委員を
やってみた！



路上博物館



3Dプリンターによる
動物骨格標本。
気軽にさわれる〜と
大好評！



まちなす・
Labo/Friends



MamaCan

ママだって
楽しませー！



まっどでつながる
プロジェクト



日本アンガーマネジメント協会
関東支部

怒りと上手に
付き合おう



お気に入り
見つかったかな？

実行委員会企画

運営団体：NPO 法人さんま

こどものまち はたらく・たいけん・つかう



この看板がある
ブースでつかえよ！



仕事を選んで



みらい通貨を
もらって

この看板があるところで働いて



こどもは、みらい。

みらいフェスタ 2021

当日は、桜が満開、風もなく穏やかな日差しで

最高のお祭り日和でした！



3.27 sat
at
松戸中央公園
出展団体27(37ブース)
当日来場者
延べ約1500名



今どきのスリーショット

2020年度の終わりは、みらいフェスタ！
実施するかしないか直前まであやうい状況でした。
今までとは全く違う一年を過ごした子どもたちに、
少しでも体験の場を作りたい！と実行委員会と参加団体の皆さんの
知恵を結集して、開催することができました。
フェスタに関わっていただいた
皆様すべてに感謝の一日でした。

子どもたちを
真ん中に

- ✓ 学ぶ
- ✓ 体験する
- ✓ 楽しむ
- ✓ 主役になる

子どもたちで
運営



CHIEの輪



マザリーちば

食品添加物を
ゲーム感覚で知る

ステージ パフォーマンス

発表の場が激減の中
「みらいフェスタを目標に
練習できたのが何より♡」
と渾身の演技を披露！



向日葵太鼓



marble choco



2020年12月にサポセンで開催した「まつどみらいカイギ 2020」。松戸を盛り上げるアイデアを持ち込んでくれたプレゼンターを中心に、内容に共感した参加者によってディスカッションが行われました。その中から2つ、話し合ったアイデアを実現しよう！と集まった有志によるプロジェクトがスタートしました。松戸に生まれたばかりの新しい取り組みを、サポセンのコーディネーターと一緒にワクワクしながら伴走しています。

みらいカイギ2020から生まれたプロジェクトをご紹介します！



みらいカイギテーマ

学校ではダメなこと、全部やっちゃおう！

みらいカイギ プロジェクト名

お遊び集団！
YA！チャオ！

元小学校教師の神原一美さんは、学校で「逃走中をやりたい！」という子どもたちのリクエストに応えられなかった経験から、みらいカイギにプレゼンターとして出ることを決めました。集まったメンバーの方は、学校だけでなく、公園など本来子どもが遊べる場所も「危ないから木登りをしてはダメ」など、禁止事項が増えていて、子どもたちの「やりたい」という気持ちを否定したり、限界を少しずつ超えて「経験を積むチャンス」を奪っていることへの共感からこのテーマに集まりました。



Play集団！YA！チャオ！
黒板に落書きできるよ！



↓Tシャツや教科書に落書き！！



マスクにも落書き！



みらいカイギテーマ

食べることを知り
『SDGs』に取り組もう

みらいカイギ プロジェクト名

まつどSDGsノウエン

SDGs: Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)

まつどSDGsノウエンは、「SDGsとよく聞くけれど、身近な食の分野からできることはなんだろう？」と思い、みらいカイギのプレゼンターに応募した佐藤謙太さんと、SDGsに興味がある多様なバックグラウンドを持ったメンバーから生まれたプロジェクトグループです。

食を通してSDGsを学ぶ機会を増やすことをテーマに、農作業(植え付けから収穫まで)や収穫したものを料理するなど、食べ物について知り、考える機会を提供(イベント開催)する活動をしています。これまでに矢切ねぎ収穫体験、じゃがいもの植え付けや、草むしりなどのイベントを開催しました。収穫体験にとどまらず、土、種、堆肥からSDGs全般について話す参加者の皆さん。体と頭を使いながら楽しく学んでいました。

今後も「種まき」から「ごちそうさま」までの循環を体験できる活動を続けていきます。

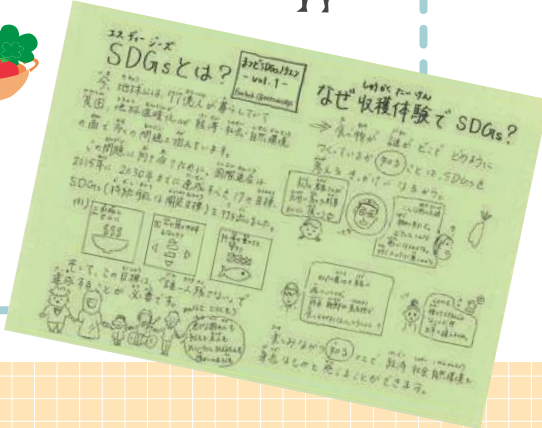
第1回矢切ねぎ収穫体験



じゃがいものお世話イベント



メンバー手作りの配布資料
「SDGsとは？」
「なぜ収穫体験でSDGs？」



Facebook



<https://www.facebook.com/matsudosdgs>



地域活動の一番の魅力…☆三

私は、お隣の市川市で19年ほど子どもとその保護者が対象のNPO活動をしてきました。この度縁あってこちらでコーディネーターを務めさせていただくことになりましたが、松戸市のお話を聞けば聞くほど、それぞれの市の市民活動の共通点を強く感じています。

毎年松戸で実施している「まつど地域活躍塾」ですが、市川でのTMO講座というものがとてもよく似ています。私も3年前に受講しました。

それまで私が日常の生活で出会うのは、NPOで一緒に育った子育て中や子育てがひと段落した価値観の似ている女性たち、または学校の先生方や保護者のみなさんに偏っていました。ですが、TMO講座で出会ったのは、職業やバックグラウンドが全く違った様々な方々。受講後はお互いの活動に参加したり協力し合ったり、色とりどりの交流が続いています。

改めて、地域活動での一番の魅力は、普段の生活では出会えない人々に出会えることだと思います。平たく言うと、「友人や仲間ができる」のです。それにより生活に彩りが増え、楽しく暮らせる人が増えることで、町の雰囲気も良くなる。地域を良くすることは、お金をかけて景観を綺麗にしたり立派な施設をつくることや難しい地域課題を専門家が解決させたりすることではなく(それも大事ですが)、人と人とのつながることが一番必要不可欠なことだと感じます。

松戸のたくさんの人と人をつないで、皆さんが楽しく暮らせる良い町づくりに貢献できるように頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します！



まつど市民活動
サポートセンター
コーディネーター
石川 紗樹

(Photo: ぐずはら まり)

チャレンジャー 市民活動団体紹介

まつど
子育てコネクト
(matsuco)



お問合せ

共同代表：竹内 幸枝・富田 文子

E-mail：kodomokizuna.m@gmail.com

ホームページ：https://kodomokizuna-m.amebaownd.com/

活動場所：コロナとともに歩んでいるため
オンラインが主な活動場所

迷ったら、まず門を叩いてほしい場所
「私たちはお節介BBA(ばばあ)なんですよ!」と
にこやかにインタビューにこたえてくれた代表の
竹内さんと富田さん。
matsucoは子育てで課題を抱えている人、誰
に相談していいか迷っている人に、まず門を叩いてほ
しい場所です。一次的な目的は、一人ではなかなか解決で
きないけれど、共感できる人の輪を広げ、コネクトする
(繋げる)こと。二次的な目的は、人に一緒に寄り添い
プロジェクトを立ち上げアクションに繋げることです。
あくまでも伴走なので、課題を持ち込んだ人がプロジェ
クトリーダーになり課題解決に取り組んでいます。

「わが子のために、
まつどっ子たちのために、
そして全ての子どもたちのために」、
これからも
しなやかに活動続ける
matsuco に注目!!



マツコの知らない政界～市政ウォッチプロジェクト～



2020年5月16日付東京新聞(千葉版)掲載



原点は「みんなで考えようPTA」
matsucoはPTAの悩み事などを抱えてい
る人を集めてわちゃわちゃ話すグループ「みんな
で考えようPTA」が原点です。コロナ禍で学校休校中
の2020年5月に「松戸市の子どものための学びと
絆を守る会」を立ち上げ、「オンライン学習に関する
緊急アンケート」を実施、その結果をもとに保護者の
思いを松戸市に届けました。同年7月にキャッチー
な(人の心を惹きつける)現在の団体名に変更し、
今までの取り組みに加え、様々な課題をプロジェク
ト化し活動しています。

地域・行政・議会に思いを繋ぐ

プロジェクトのひとつ「マツコの知らない政界」
市政ウォッチプロジェクトでは、課題解決の一ツ
の方法として地域・行政・議会に思いを繋いでいく
活動も行っています。「私たちの生活や子どもたちの
教育は、政治に左右されていることに気付きました。
市議会などを傍聴すると、びっくりするほど自分に
関係することが話し合われています。私たちみたいな
主婦でもいいの?と言う人が、気軽に議会に足を踏み
入れるきっかけを作りたい。」と話してくれました。



第5期まつど地域活躍塾

公開講演会を開催しました!

5/25(火)
YouTube
Live 配信



第1部では、俳優で一般社団法人 Get in touch 代表でもある
東ちづるさんより、アートや音楽、映像、舞台等を通じて、誰も排除
しない、誰もが自分らしく生きられる“なぜこぜの社会”を目指す
活動についてお話を伺いました。松戸市にも「地域共生課」ができ、
まさしく“松戸版なぜこぜの社会”の実現に向けて、新たな観点を
示してくれました。また第2部では、まつど地域活躍塾のOBOG
による地域活動トークセッションを行いました。

東さんのお話でも、OBOGのお話のなかでも印象に残ったの
は、趣味のように楽しみながら、自ら活動に関わる皆さんのお姿で
した。いろいろな活動や情報に触れる中で、心の琴線に触れたり、
わくわくする活動、楽しいばかりではなくても少しの喜びのため
にコツコツと続けられる活動、また自分の得意なことでも貢献でき
そうなことを手始めに探すのもいいということでした。

本講演が、松戸市民の皆さんにとって“地域活動＝難しいもの”
ではなく、趣味の延長、生活の一部となり、人生をより豊かにする
つながりづくりのきっかけとなれば嬉しいです。



第2部 講師(まつど地域活躍塾 OBOG)

船木 智美さん
人とまちをつなぐ そろばん塾 代表



南部 朗さん
関さんの森を育む会 所属



森田 貴彦さん
認定NPO法人
外国人の子どものための勉強会 理事・
新松戸教室プロジェクトメンバー



進行：阿部 剛
(まつど市民活動サポート
センター センター長)



まん延防止等重点措置の
適用に伴い YouTube Live
での生配信となりました!

まつど地域活躍塾とは

松戸をより暮らしやすい街にする
ために、自分の経験やスキルを生か
して地域で活躍していくきっかけを
見つけるのが「まつど地域活躍塾」。
松戸市とまつど市民活動サポート
センターとの共催で2017年度より
スタートし今年で5期目を迎えます。これまでに約100名が受講し、
松戸市内の団体などで多くの修了生が活躍しています。



第2部については
YouTube でご覧いただけます
(第1部は限定公開期間を終了しました)
https://youtu.be/c_TMSQgvUzA

NEW REGISTRATION

サポセン
新規届出団体
を紹介します!

2021年3月26日～6月20日
(届出順・敬称略)

- Rainbow Arrow English ■河原塚南山水道利用組合 ■松戸習字愛好会
- クレア新体操クラブ千葉教室 ■清風会 ■二十世紀が丘フォークダンス愛好会
- ルアナ・リコ・カ・レファ ■若菜珠算塾 ■オカリナサークル響 ■フラワーサークルとちの木
- 超普通スタジオ ■松戸市はつらつクラブ新松戸支部 ■松戸蘭友会
- 南千住ドリームシスターズ ■公益社団法人日本青年会議所関東地区千葉ブロック協議会
- 楊明時太極拳柿の木台教室 ■ママってHappy ■MOC ■木曜歌謡サークル
- ニャー先生のけんちゃんとおそぼう! ■生き活き体操クラブ ■モハラワヒネフラダンス



団体情報を分野・内容別に整理して掲示

市内の子育て情報やイベント情報も探しやすい！

「矢切の子育て」コーナー？
この近くで子どもを連れて
いけるところがあるんだ！

市内の子育て情報やイベント情報
もそれぞれまとまっていて探しや
すい。今度参加してみようかな。



まちのことを考える資料も設置

例えば…パブリックコメントやSDGs

テレビで話題の「SDGs」が気にな
って調べていたら、地元の松戸がど
んな街づくりをしていくのかも知
りたくなった。パブリックコメントの
冊子を読んでみたかったんだけど、
ここに置いてあるんだ！

掲示されてたSDGsに取り
組んでいる団体も気にな
ったから、一回見学に
行ってみようかな。

外務省
「SDGsとは？」



国連サミットで2030年までに世界で達成するために採択された、17の大きな目標と具体的な169のターゲット
のことで、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。「誰一人取り残さない」持続
可能な社会を実現していくことをテーマに日本でも国・企業・団体などが取り組みをしています。
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>(外務省「SDGsとは？」)

「こんなことをやってみたい！」を探してみよう

例えば…仕事の隙間時間や休日に子どもたちを支援する活動がしたい！

子ども食堂のお弁当
配布活動…これくらいなら
お手伝い
できるかな？



日本に来ている外国人の
子どもたちを支援する
活動団体があるんだ！
自分もボランティアで
関わりたい！



Renewal



掲示してある活動の詳細や、「自分で活動を立ち上げたいけど、どうすれば
いいんだろう？」というご相談にもコーディネーターが対応いたしますので、
まずはぜひ色々なチラシを手にとってみてくださいね！

サポセンニュースレター



第24号(2021年蝸牛号)

発行日：2021年6月30日

(※年4回発行)

発行元：まつど市民活動サポートセンター
(指定管理者 NPO法人まつど NPO協議会)

「ぼっく」の
主な設置場所

松戸市内の図書館、市民センター、公民館など各種
公共施設、松戸駅などに設置しています。

「ぼっく」設置協力店

Sampo Café(ハケ崎7丁目)
松戸探検ひみつ堂(松戸1874)
子育てつながるセンター co-no-mi
(本町13-27)
松戸観光案内所(本町7-3)
やしま商店(本町6-3)
隠居屋 IN kyo-Ya(南花島中町196)

はれの日サロン
(常盤平3-10-1 セブタウン常盤平1階)
omusubi 不動産
(総台1-21-1 あかぎハイツ112)
Coworking Space Flat Café & Bar
(新松戸3-289)
昭和セレモニー松戸・矢切・北小金儀式殿
(千駄堀620-1・栗山19-4・殿平賀75-2)
松戸スタートアップオフィス
(松戸1307-1 松戸ビル13F)

「ぼっく」の配架にご協力いただけるお店・施設を募集します！

ニュースレター「ぼっく」を、お店や施設に配架していただけませんか？
ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介します。
もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。広告掲載も募集中です。詳しくは、
まつど市民活動サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。



まつど市民活動 サポートセンター

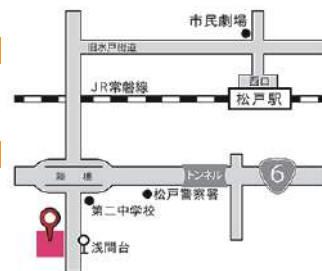
〒271-0094 松戸市上矢切 299-1(総合福祉会館内)
TEL:047-365-5522 FAX:047-365-5636
E-mail: hai_saposen@matsudo-sc.com
URL: <http://www.matsudo-sc.com/>
facebook: <https://www.facebook.com/matsudo.sc>

開館時間

月～土：9時～21時
日：9時～17時

休館日

第1・第3水曜、
年末年始
(12/29～1/3)



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設利用に制限が
ある場合があります。詳細はサポセンホームページをご覧ください。



編集後記

毎年春になるとサポセンに巣
を作るツバメ達。ヒナの成長を観察するのが楽しみ
の一つでしたが、今年は訪れず淋しいです。(ひ)